## 植物生理学研究室 学会発表

「発売者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

	【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生
学会名	The 24th International Plant Growth Substances Association Conference
演題名	Analysis of Arabidopsis ANAC and DOF transcription factors involved in ectopic vascular differentiation.
	OMasashi Asahina1,2, Keita Matsuoka1*, Ryosuke Sato1#, Yuki Matsukura1%, Yoshiki Kawajiri1%, Hiromi Iino1%, Naoyuki Nozawa1%, Takumi Sakata1%, Miki Tagawa1%, Ryo Ohyama1%, Kyomi Shibata1, Yuki Kondo3, Shinobu Satoh4.
発表者	1 Department of Biosciences, Teikyo University, Japan 2 Advanced Instrumental Analysis Center, Teikyo University, Japan 3 Department of Biology, Kobe University, Japan 4 Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, Japan *現 ベルグアース(株)、#現 森林総研
内容	韓国慶州にて開催された、The 24th International Plant Growth Substances Association Conferenceにて口頭発表(Short talk)に選出され、発表を行った。これまでに我々は、シロイヌナズナの切断花茎や胚軸間接ぎ木の癒合過程において、傷害やオーキシン等によって誘導されるANAC071、ANAC096、ANAC011転写因子が、花茎や胚軸の木部柔細胞や髄細胞の幹細胞化に必要であること、この幹細胞が傷害誘導性の形成層細胞として機能することで、切断花茎や胚軸が癒合することを報告している。さらにトランスクリプトーム解析や一過性発現系を用いた解析等から、DOF転写因子の一種がこれらのANAC転写因子の下流で機能している可能性が考えられた。本講演では、筑波大学、神戸大学との共同研究によって得られた異所的な維管束細胞分化に対するANAC転写因子とDOF転写因子の関与について報告した。なお、本研究の一部は、科学研究費補助金、私学事業団特別補助(大学間連携等による共同研究)、先端総研チーム研究助成金、G7奨学財団助成金による支援を受けて行ったものである。
関連画像	PLANT GROVVTH SUBSTANCES  PLANT GROVTH SUBSTANCES  PLANT GROVVTH SUBSTANCES  PLANT GROVTH SUBSTANCES





会場となったHICO(韓国 慶州)